



天気の良い日は夕方遅くまで明るいと思ったら、6月21日は二十四節気の一つ、夏至でした。この日、東京は日の出がAM4:24:45で、日の入りがPM7:00:36だったそうです。しかし、21日は、曇天で昼間が一番長い日だという実感はあまりありませんでした。冬至だと“ゆず湯”とか“冬至かぼちゃ”とかありますが、夏至はそういったものは一般的にはあまりありません。昔は夏至の頃はちょうど田植えの時期と重なり、農事が忙しいのでそれどころではなかったという説もあります。

今年は沖縄を除き、関東の方が先に梅雨入り（だいぶ早い梅雨入りでした）しましたが、今までのような梅雨末期の土砂降りもなく、連日暑い日が続いていたと思ったら、6月27日に梅雨明けになってしまいました。これから連日高温が続くのかと思うと厳しいものがあります。（鳩山町は特に暑いようですし・・・）

さて、幼稚園の6月は、にじ組図書館訪問、初めてチャレンジしたたんぼ体験、今年度最初の誕生会、収穫量の多さに大満足のジャガイモ掘り、最後は保育参観、とたくさんの行事が目白押しでした。どの行事にも子供たちは一生懸命取り組み、成果をあげたのではないかと思います。そして、毎日の園の中でもたくさん遊び、たくさんの作品を作りました。

これからは夏本番、子供たちは梅雨明けの猛暑の中でも元気。プールも始まります。



にじ組 街（車作り）



さくら組 七夕飾

活動の流れ <7月>

時期	さくら組	にじ組
7月上旬	<p>シャボン玉で遊ぶ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大小色々なシャボン玉を作って遊ぶ。 <p>七夕の飾りを作る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・短冊に願い事を書いて飾る。 	<p>ヒマワリの絵を描く。</p> <p>シャボン玉で遊ぶ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大きなシャボン玉を作る。 <p>七夕飾りを作る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・願い事を短冊に書く。
7月中旬	<p>水遊びをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分で水着の脱ぎ着をする。 ・指絵の具で遊ぶ。 ・園庭で水鉄砲で遊ぶ。 ・プールでの約束事を知って遊ぶ 	<p>野菜の絵を描く。</p> <p>水遊びをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指絵の具で遊ぶ ・園庭で水鉄砲で遊ぶ。 ・プールの約束を守って遊ぶ。



ザリガニ持てたよ!

* 詩の投稿について * 本当になかなか集まりません。 提出してくれたものは新聞社に送りました。



【幼稚園で出来る「ESD（持続可能な開発のための教育）」の取り組み】

活動前の事前指導
意欲を高めます。

お世話になります。よろしくお願いします。

＜田んぼ体験＞

6月のESD

植え方をレクチャー

6月3日（金） 大豆戸の清水さん宅の田んぼの一角で田植え体験をさせてもらうことができました。安全面を考えて長靴をはいて入ることも考えましたが、田んぼの状況と安全の確認ができたので裸足で入りました。子供たちは日頃から園庭や砂場で裸足で活動していましたので、田んぼにも抵抗なく入ることができました。

お天気にも恵まれ、貴重な体験ができました。

＜教師の思い＞

お米ができるところを見せてあげたい。

＜さらに、教師の思い＞

見るだけでなく田んぼに入る経験をさせたい。

そこで・・・、

地域の方にお願ひしよう！



【今後に向けて繋がる活動】

子供たちが植えた田んぼの広さは1辺がわずか2メートル弱ですが、子供たちは田んぼに入った時の感触、お米になって食べられるときの期待など様々な思いが生まれてきたようです。生長への関心や稲刈りなどこれからも活動を繋げていきたいと考えています。

<6月のピジョッコフォト>

園のホームページにも日々の活動を随時アップしています。

【6月の誕生会】



おめでとう!



ポンポコの会による出し物

ちょうちょ



傘の中には一とんがかけていました!



本物の一とん登場!

【6月7日】 6月生まれのお誕生会が行われました。今年も「ポンポコの会」の皆さんがお誕生会の後、出し物を披露してくれました。今回はスペシャルゲストに“はーとん”も来てくれて大盛り上がりでした。みんなでげんきき体操を踊りました。ぽんぽこの皆さん本当にありがとうございました。

【ジャガイモ掘り】



【6月14日】 3月に今のにじ組がジャガイモのタネイモを植えました。いよいよ収穫となりみんな大喜びでした。今年は大きなジャガイモがごろごろ出来ました。とった分を全部自分の袋に入れたら、園に帰る途中袋が破れて、ジャガイモゴロゴロになってしまう子もいました。1人3キロ以上お土産に持って帰りました。子供たちは次の日のバスの中で早速ジャガイモを食べた話をしてくれました。



この物体は何でしょう?

【楽しいあそび・楽しいせいさく】



ちぎってちぎって



プールにもなりました。



街の中を走らせよう!

さくら組はたくさんの新聞紙をちぎって遊びました。子供たちは夢中でちぎったりまいたり気持ちを開放し楽しみました。

にじ組は空き箱などを使って車作りをしました。街も作り思いが膨らんでいました。

<ピジョッコファームだより>



大きくなあれ



初収穫



畑の様子



畑のヒマワリ見にいこう!

【栽培活動 お家の方の感想】

- ・ソラマメありがとうございました。祖父母も作っていますが、自分で莢と豆を見て触れることで食べてみようと思ったようです。だから幼稚園のソラマメは独り占めでパクパク食べてしまったようです。
- ・ソラマメを幼稚園でいただいて来た時、大、大、大興奮でした。「だ〜い好き!」と言って食べていました。
- ・田んぼ体験ありがとうございました。「田んぼは冷たかったよ! お米ができたなら納豆ご飯食べたい!」と言っていました。他の子にも聞いたら「田んぼはあったかかったよ!」と言っていました。
- ・たくさんのジャガイモありがとうございました。フライドポテトが好評でした。私がホクホクだね〜。と言うと初めてホクホクの意味を知り、熱くてもホクホク〜おいし〜と言いながら食べていました。連日のおやつのリクエストはフライドポテトで兄弟にも好評で競うように食べていました。

*感想ありがとうございました。感想を聞かせてもらえると活動の励みになります。

今度、お家の方も一緒に栽培活動やってみませんか?

この物体は何でしょう?...答え: 令和1年6月のジャガイモ すこい生命力です!

み～んな！げんき！



さくらぐみ

『楽しかった？』

さくら組担任 窪田幸恵

「おはよう！〇〇ちゃん今日一緒にお弁当食べよう！」幼稚園に到着すると、昼食を誰と食べるのか約束をするのが最近のさくら組のブームとなっています。4月、5月は友達に声を掛けることに緊張していた子たちも、同じさくら組として2か月半一緒に過ごしてきて、園での生活にも慣れ、自分から気の合う友達に声を掛ける様子が見られるようになってきました。

★楽器は楽しいね！…「あれは何の音だろう？」にし組さんの楽器遊びの音に興味津々の子供たち。そこで、さくら組でも楽器に触れてみることに…。カスタネット、トライアングル、鈴、子供たちがいつでも手に取れるように保育室に置いておきます。「やってもいいの？」とAちゃんBちゃんがそっと手を伸ばしました。教師がピアノを弾き始めると、音楽に合わせて自由に音を鳴らして楽しめます。楽しそうな音に周りの友達も集まってきました。皆で一緒に楽器が鳴らせたらいいなと思い、教師が教室に椅子をいくつか並べてみると、そこに皆で座ってさくら組音楽会が始まりました！「忍たま乱太郎、弾いて！」「お空の雲も（鳩山幼稚園の園歌）がいい！」とピアノの音に合わせて「ずんちゃか♪ずんちゃか♪」演奏を楽しみました。音楽会が終わると、C君は他の遊びをしていたD君の所へ駆け寄り「D君どうだった？（見ていて）楽しかった？」と嬉しそうに聞きにっていました。

友達と一緒にすることで『楽しいな』という気持ちが更に膨らんで、自然と笑顔になっている子供たちの姿が見られました。楽しい気持ちが溢れて思わずD君に聞きにいったC君。「うん！」という返事がもらえてとても満足そうでした。

にじいろ

「僕たちがこんなに作ったなんてすごいね」

にじ組担任 田畑瞳

参観日では、子供たちのお家の人との触れ合いに嬉しそうな表情が見られました。にじ組のみんなの成長を感じられたでしょうか。ご参加くださり、ありがとうございました。

6月も色々な活動や遊びに取り組んだにじ組です。中旬頃には、ゴムタイヤを使った車製作を行いました。タイヤの向きに意識ができるよう話をして作り始めると、まっすぐ走るように向きを考えて一生懸命にタイヤの軸を貼っていました。タイヤが付けられると、早速床に転がしてみます。

「せーの！」と自然にみんなと一緒に走らせることを楽しんでいました。すると、Aちゃんが「(去年の)にじ組やってたよね！」と思い出して話をしていました。集めておいたたくさんの空き箱やカップなどの中から自分のお気に入りを選び、思い思いに車を飾っていきます。それから、ビニールテープなどを使って、信号や横断歩道などもできてきました。次の日には、『建物を作ろう』とそれぞれが考えて、自分の家や映画館、ベイシアなどができていきました。3日間ほどかけてにじ組の部屋は、街に変わっていきました。出来上がった街を見てB君が「僕たちがこんなにつくったなんてすごいね！」と自分たちで作上げたことに喜びを感じていました。これからも、達成感を味わい、自信に繋がっていく年長ならではの経験をもてるよう支えていきたいと思えます。

